



図 オリンピック・パラリンピック担当 ☎481-7447

東京2020 パラリンピック競技大会が ついに開幕!

8月24日(火)~9月5日(日)



さまざまな障害のあるアスリートたちが創意工夫を凝らして限界に挑むパラリンピックは、世界最高峰の障害者スポーツ大会です。今大会は22競技・539種目が、21会場で開催されます。市内にある武蔵野の森総合スポーツプラザでは車いすバスケットボールが行われます。

市内での開催競技

Wheelchair Basketball 車いすバスケットボール

世界的に人気の花形競技。激しさとスピード感に熱くなる!

下肢などに障害のある選手が、競技用車いすを巧みに操作しながらプレーします。

ルールは一般のバスケットボールとほぼ同じです。1チーム5人、コートは大きさやゴールの高さはオリンピックと同じで、試合時間は1クォーター10分間×4回の40分です。特徴的なルールとして、「ダブルドリブルはなし」「ボールを持った状態で車いすを3回漕ぐとトラベリング」「障害の程度に応じた選手のクラス分け」があります。

●開催スケジュール

武蔵野の森総合スポーツプラザ / 8月25日(水)~29日(日)
有明アリーナ / 8月26日(木)~9月5日(日)



パラハートちょうふ

つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち

パラリンピックには、多様性を認め、誰もが個性や能力を發揮し活躍できる公正な機会が与えられています。そして、共生社会の実現に向けてたくさんのヒントが詰まっています。市では、東京2020大会の開催を契機として、共生社会の重要性をこれまで以上に発信するために、さまざまな取り組みを行っています。「パラハートちょうふ」のキャッチフレーズには、「市内の多くの方々が、さまざまな障害に対する理解を深め、一人ひとりが寄り添う心を持ち、手を取り合って暮らせる共生社会を実現したい」という思いが込められています。

調布市応援アスリートの競技



Para-Badminton バドミントン

強烈なショットや相手の裏をつくテクニック
スピーディーな試合展開に目が離せない!

障害の内容や程度で6つのクラス(車いす2クラス、立位4クラス)に分かれています。種目は男女シングルスとダブルス、混合ダブルスが実施されます。ラケットやシャトル、ネットの高さ、ルールはオリンピックとほぼ同じで、全種目とも21点の3ゲーム制で2ゲーム先取です。

シングルのコートの大きさは車いす2クラスと立位1クラスが通常のコートの半分を使い、車いすクラスはネットに近いエリアにシャトルが落ちたらアウトとなるなど、クラスによって一部ルールがアレンジされています。

●開催スケジュール 国立代々木競技場 / 9月1日(水)~5日(日)



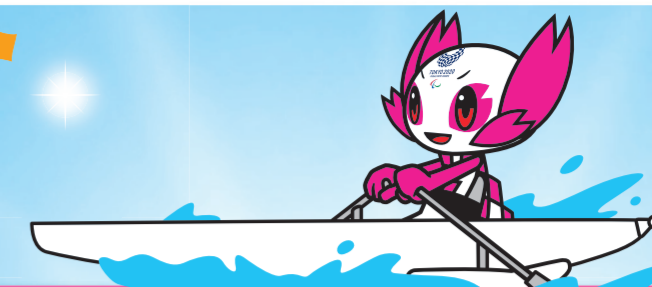
山崎選手は、女子シングルス(WH2)と女子ダブルス(WH1-WH2)に出場します。クラスによってプレースタイルが異なり、立位クラスでは、強い上半身を生かした力強いスマッシュ、低身長選手の俊敏なフットワークに注目です。山崎選手が出場する車いすクラスは、巧みな車いす操作と、厳しいコースをつく前後の揺さぶりなど戦略的な駆け引きなどに注目です。



パラバドミントン 山崎悠麻選手



©2021 JPBF



Para-Lowling ボート(パラローイング)

2000m直線一発勝負
華麗なる水上バトルに注目!

進行方向とは逆向きに座ってオールを漕ぎ、ボートの先端がフィニッシュラインを通過順に順位がつけられます。東京2020大会からレース距離が1000mから2000mになりました。種目はボートの種類別に3種目、それぞれ対象となる障害が規定されています。

●種目 PR1シングルスカル(1人乗り)(男子/女子):

体幹機能がない、または最小で、腕と肩のみでオールを漕ぐ

PR2ダブルスカル(男女ペアの2人乗り)(混合):

体幹、腕、肩の機能を使ってオールを漕ぐ

PR3舵手つきフォア(舵手が同乗する4人乗り)(混合):

脚、胴体、肩と腕を使って漕ぐことができる(切断、視覚障害などの選手も可)

●開催スケジュール 海の森水上競技場 / 8月27日(金)~29日(日)



有安選手は、PR3混合舵手つきフォアに出場します。この種目は、性別、障害の種別(視覚、肢体障害が混合で、舵手は健常者)が混合の5人1チームです。身体障害と視覚障害という異なる組み合わせでのチーム戦になるため、個人技や身体能力とチームのコンビネーションがポイントです。



パラローイング 有安諒平選手

お家で楽しもう!

オンライントークイベント

東京2020大会をより楽しめるよう、テーマ別に競技の見どころなどを紹介する動画を配信しています。

パラリンピックに向けて、市内で開催される車いすバスケットボールの魅力や、共生社会実現に向けた市の取り組みを、8月21日(土)午前9時から配信します。これまで配信したコンテンツも含め、ぜひご覧ください。

8月21日(土)午前9時から配信
パラリンピック

第1部

- 車いすバスケットボールの魅力
- パラリンピアンによるトークショー
- 調布市応援アスリートへの応援メッセージ企画

第2部

- サウンドアートパフォーマンス(園保坂俊彦(サウンドアーティスト))
- 調布よさこい特集

現在配信中のコンテンツ

- サッカー、ホストタウン、ラグビー、バドミントン

視聴方法

調布市公式YouTube
「調布市動画ライブラリー ChofuCity」から
ご覧ください

アクセスは
こちら→



市公式YouTube



東京2020オリンピック聖火リレーの 点火セレモニー開催

都内で実施予定だった東京2020オリンピック聖火リレーは、一部島しょ地域を除いて、公道走行が見合わせとなり、代わりにセレブレーション会場で点火セレモニーが実施されました。7月16日に、武蔵野市の武蔵野陸上競技場で関係者のみで行われ、調布市のランナーが参加しました。点火セレモニーの様子や聖火ランナーへのインタビューは市(右のQRコードからアクセス可)をご覧ください。



●点火セレモニーの参加者の声

グループランナー
調布リトルリーグ・リトルシニア

小針大輝さん

聖火ランナーという貴重な体験ができてとても光栄です。日本全国からつながってきている聖火にはたくさんの人の思いが詰まっています。トーチは、1.2kgより重い感じがしました。今はコロナ禍で暗くなっている人たちに、希望を与える大会になってほしいです。